令和７年度　坂下小学校　学校経営の全体構想

【中津川市　教育の方針】　生活･学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

学校の教育目標…「ひとりだちできる子になろう」
～たくましく　ゆたかに　たしかに～

教育目標具現のための５本柱		【めざす子供の姿】
［さ］わやかあいさつ	…	元気な声であいさつする姿
［か］っぱつ発言	…	進んで挙手発言する姿
［し］っかり掃除	…	静かにそうじする姿
［た］のしく運動	…	楽しく運動する（遊ぶ）姿
［♪］ひびく歌声	…	大きな声で歌う姿

【めざす学校の姿】　『 笑顔と感謝のあふれる学校 』
・学校が楽しい１００％　・自分にはよいところがある１００％

【令和７年度重点】　★　…重点の中でも特に大切にしたい項目

１　安全教育＝子供の命、安全を守り切る指導の充実
★学校事故の未然防止の徹底、違和感の共有と即時対応。ヒヤリハット事例の研修
・子供自身の判断力を磨く「防災教育」の工夫

２　学級経営＝安心感と自己有用感のある学級経営の充実
★言葉の指導の徹底＝ふわふわ言葉、ちくちく言葉（その言葉、素敵だね・悲しいな）
・関わる力の向上＝学級組織の活用と、自己有用感を高める SGE（構成的グループエンカウンター）
・学級のルールづくりと徹底＝侵害感を生まないルールづくりと、活動の切り替え、「静けさ指導」

３　児童会・委員会＝6 年生を中心に自治を育み、5 本柱の具現に向けた取り組みの充実
★上級生がリーダーシップや関わり方の手本を示す。上級生を目指す姿として生活の向上を図る
・「どうすれば学校がもっと楽しくなるか」「気持ちよく過ごすことができるのか」の視点

４　いじめ・不登校対策＝安心できる学校環境づくりの推進
★「心の健康チェック」の確実な実施（毎月）と情報共有・迅速な事後ケア（個人面談）
・４サポ委員会の確実な開催と、そこで確認されたことの周知と組織な対応
・家庭との連携し、安心して過ごせる場（スマイルルーム・相談室・保健室）有効活用

５　特別支援教育＝一人一人の教育的ニーズに合わせた指導支援の充実
★一人一人を正しく理解し、児童や家族の心情に寄り添った指導・支援を行う。
・学校（園・小・中）・家庭・関係機関と連携協働して指導・支援を行う。
・４サポ委員会やミニ研修を含めた校内研修の実施による特別支援教育に対する理解の促進

６　教科指導＝毎日子供の笑顔が生まれる授業の充実
★わかりやすい授業、子供が主体的に参加する授業、間違いが認められ安心して学べる授業を目指す
★授業パターンの確立と学習規律の徹底
・課題意識の醸成、交流の質の向上、自分の言葉で書くまとめ、出口の姿の明確化、ICT 活用

７　体力向上＝子供たちが、楽しく体力・運動能力を向上させるための活動の充実
★体育／準備運動の時間の運動量確保の工夫とＡＣＰやチャレスポ in ぎふの積極的な参加
・「さかした体操」の継続実施と、走力・持久力を高める運動の推進

８　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）＝多様な人とつながり、関わる力の向上と、ふるさと教育の充実
★地域と学校が協働した教育活動「ふるさと学習」を推進する中での「人づくり・つながりづくり」
・身近で多様な人との関りを通して、ふるさとのよさを感じ取り、誇りと愛着を育む
・やさか交流会（学習・宿泊）、PTA 活動（親子・厚生・広報・家庭教育）